

ご一緒に、いい人生



証券コード：4681

第49期 事業報告書 株主通信 Vol.47

2021年4月1日～2022年3月31日

INVESTORS' REPORT
April 2021 - March 2022

RESORTTRUST

TO OUR SHAREHOLDERS

株主の皆様へ



CEO 伊藤 勝康



COO 伏見 有貴

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、当社グループへの日頃のご支援に心より御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症による生活や経済活動への影響が長引いておりますが、当社グループにおきましては、メディカル事業での知見を最大限に発揮した独自の3密対策や最新の感染対策情報の提供を行い、安心安全な施設で、より豊かで幸福な時間を過ごしていただけるよう「一生涯戦略」のさらなる推進に取り組んでおります。

当期の経営成績は売上高・営業利益ともに前期比マイナスとなりましたが、これは会計上の要因によるところが大きく、この影響を除いた実質ベースでは各事業とも順調に収益を伸ばしております。会員制ホテルの新ブランド「サンクチュアリコート」シリーズやメディカル会員権の販売は非常に好調であり、ホテル・レストランの稼働率も改善しております。コロナ禍に伴う収益への悪影響は底打ちし、2023年3月期には売上高・営業利益ともに増加に転じる見通しです。

今後とも引き続き皆様のご支援ご鞭撻を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

2022年6月

代表取締役会長 CEO（最高経営責任者）伊藤 勝康

代表取締役社長 COO（最高執行責任者）伏見 有貴

TOP INTERVIEW

トップインタビュー

**コロナ禍において、会員権契約高は過去最高水準に。
ホテル・レストランの稼働率も改善し、業績は回復基調に転じました。**

ホテル・メディカルの会員権販売が好調で、 過去最高の契約高を更新

—— 当期の事業環境と経営成績についてお聞かせください。

国内景況には改善の動きも見られましたが、各種コストの高騰やウクライナ情勢など、景気の先行きに対する不透明感が強い状況が続いております。当社グループにおいても、ホテルやレストランの運営では、コストの上昇やコロナ禍で集客への影響が残る

ものの、一方で、会員権販売が好調に推移するなど、会員制の強みを活かした取り組みが功を奏してきております。

当期の連結経営成績は売上高・営業利益ともに前期比マイナスとなりましたが、前期に会員制ホテルの新規開業に伴う不動産収益の一括計上があったのに対し、当期は開業物件が無かったことなど、会計上の特殊要素を除きますと、両数値とも大幅に増加しております。また、前期に約220億円の減損損失を計上したため赤字となった親会社株主に帰属する当期純損益も、黒字転換いたしました。

TOP INTERVIEW

トップインタビュー

会員権事業では、2021年6月に発売した「サンクチュアリコート高山」のみならず、既存ホテル会員権の販売が好調に推移し、年間契約高は過去最高を更新しました。前述のとおり不動産収益の計上タイミングによって、減収減益となりましたが、他方で、当期の販売の中心となった高山の不動産収益は、2023年度の開業時に大きく貢献します。ホテルレストラン等事業では、コロナ禍の影響を受けながらも、会員制ホテルならではの安心と安全が評価されて稼働状況は大幅に改善し、黒字転換を果たしました。メディカル事業では、収益認識基準の変更の影響によって、減益となりましたが、会員権販売が過去最高となるなど、長期の成長に向けて、好調な進捗となりました。

メディカル事業のDX推進でDeNAと提携

—— 中期経営計画の進捗状況をお聞かせください。

当社グループは現在、コロナ禍による環境変化を踏まえた2024年3月までの中期経営計画「Connect 50～ご一緒に、いい人生～」ローリングプランに取り組んでいます。長期安定的な成長基盤の実現を目指し、さらなる付加価値の創出や事業領域の開拓、ITテクノロジーの活用による経営全般における質的変革と生産性向上などを推進しております。目標数値としては、2024年3月期に連結売上高1,900億円、連結営業利益200億円を達成することなどを掲げております。

会員権事業では、コロナ後のニーズを見据えた物件開発に取り組んでおり、その目玉として滞在型のディスティネーションホテル「サンクチュアリコート」シリーズを商品化いたしました。第一弾の「サンクチュアリコート高山」は、発売から9ヶ月間で390億円

の契約高を獲得するなど非常に好調で、3月には第二弾となる「サンクチュアリコート琵琶湖 ベネチアンモダンリゾート」を発売いたしました。温泉露天風呂や蒸気式サウナなど、ウェルネス関連の施設が充実しているのが特徴です。今後は関東圏で第三弾となる物件の発売を予定しております。

ホテルレストラン等事業では、4月に組織改編を実施し、新体制の下でさらなるブランド力の強化や集客力の強化に努めてまいります。また、経営資源を会員制を中心としたビジネスに集中するため、一般向けホテル「ホテルトラスティ」6施設の営業を終了し、事業の一部を売却することといたしました。

メディカル事業では、DX（デジタル・トランスフォーメーション）を強力に推進するため、株式会社ディー・エヌ・エーと包括的な業務提携契約を締結し、共同出資会社を設立いたしました。当社グループのメディカル事業から得られる医療データを人工知能などを駆使して分析し、お客様一人ひとりに合ったサービスを提供し、新たな事業機会の創出を目指します。その第一歩として、関東エリアで次世代型の検診施設の開業を予定しているほか、化粧品・サプリメントの開発や新規事業の創出などに取り組み、将来的には、ホテル事業などグループ全体でのシナジー実現も目指してまいります。このほか、会員制検診施設の新規開設についても、関東と関西それぞれで準備を進めております。

業績は回復基調へ。ホテルレストラン等事業では大幅な収益改善を見込む

—— 次期の事業計画と業績見通しについてお聞かせください。

コロナ禍や国際情勢など、景気の先行きについてはまだまだ予

TOP INTERVIEW

トップインタビュー

断を許さない状況が続きそうですが、会員権の販売状況や施設の稼働率などは回復基調に転じており、次期の売上高・営業利益はいずれも増加する見通しです。会員権事業では、引き続き「サンクチュアリコート」2物件の販売に注力するほか、関東圏の第三弾ホテルの発売・開業に向けた準備を進めてまいります。ホテルレストラン等事業では、稼働率の回復や、先述の一般ホテル事業の縮小も寄与し、大幅な利益増を計画しております。メディカル事業では、事業推進体制のさらなる強化に向けて、会員制総合メディカルクラブを手掛ける株式会社ハイメディックと、シニアライフ事業のトラストガーデン株式会社を、7月に合併することを決定しました。新規拠点開設に向けた準備も進めてまいります。

—— 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

厳しい事業環境が続いておりますが、業績は着実に回復基調に

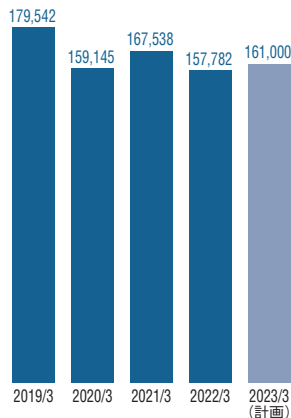
転じており、次期の年間配当金は40円と、当期に比べ10円の増配を予定しております。また、株主の皆様の利便性向上に向け、株主優待制度を電子チケット化いたしました。今後も株主の皆様への利益還元に努めるとともに、皆様にとってより効率的かつ機動的な施策の実行を目指してまいります。

当社グループは、SDGs・サステナブル経営の推進を重要課題と位置付けており、近い将来の「サステナビリティ委員会」設置に向け、このほど「サステナビリティ推進部」を新設いたしました。これらの組織を推進役として、持続可能な社会の実現へ貢献するとともに、中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

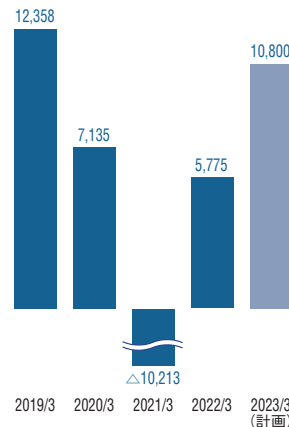
株主・投資家の皆様におかれましては、今後とも当社グループへのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 COO 伏見 有貴

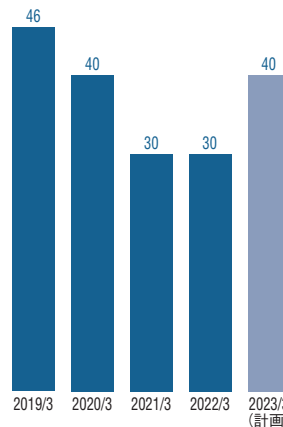
売上高(百万円)



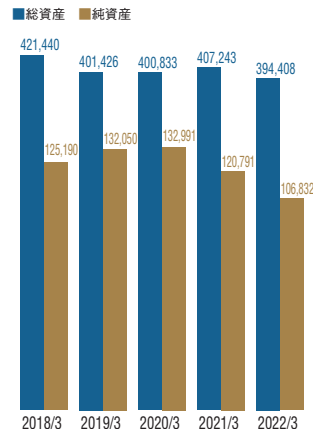
当期純利益(百万円)



1株当たり配当金(円)



総資産(百万円)／純資産(百万円)



※予測に関する数値は、2022年3月期決算発表時点の見通しに基づくものです。経済環境の変化などにより、実際の業績が予測と異なる可能性があります。

REVIEW OF OPERATIONS

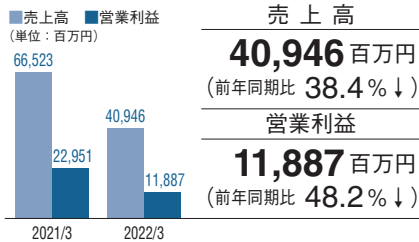
セグメント別概況

会員権事業

Membership Operations



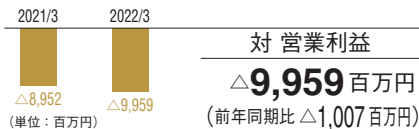
東京、名古屋、大阪に近く利便性の高い、高級会員制リゾートホテルの開発や会員制ゴルフ場の運営と、それらの会員権販売などを行っております。



会員権事業におきましては、2021年6月から販売を開始した「サンクチュアリコート高山」や既存ホテル会員権の販売が好調に推移した一方で、前年同期に会員制ホテルの新規開業に伴う不動産収益の一括計上があったのに対し、当期は無いことなどにより、減収減益となりました。なお、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、従来の方法に比べて、売上高は582百万円減少、セグメント利益は169百万円減少しております。

本社費 (全社費用)

Overhead expenses

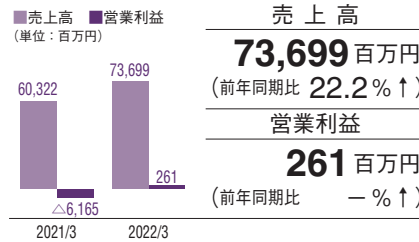


ホテルレストラン等事業

Hotel & Restaurant Operations



本物志向の設備、料理、サービスを核とするホテル・レストラン運営などを行っております。



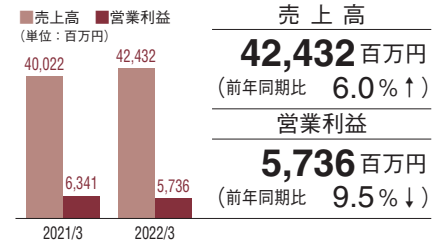
ホテルレストラン等事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、レストランの時短営業や酒類提供の制限を受けたほか、国内宿泊需要の回復も限定的であったことなど、ホテル運営には厳しい環境が継続しましたが、ワクチン接種の普及も後押し、徐々に改善の動きも見られました。加えて、ニューノーマルに対応した、「会員制らしい」安心と安全を最優先したホテル運営により、増収増益となりました。

メディカル事業

Medical Operations



高品質な健康関連サービスを提供する総合メディカル事業及び有料老人ホーム等の運営を行っております。



メディカル事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、シニアレジデンスの入居者募集活動が制限された一方、コロナ禍において「検診」の重要性が再認識されるなかで、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員権販売が順調であったこと、また、会員の増加に伴う年会費収入等が増加したことなどにより、収益が拡大しましたが、収益認識基準の変更に伴い会員権の収益が繰延べられる一方で販売関連費用は先行的に計上されることなどから増収減益となりました。

SPECIAL SECTION

特集

琵琶湖畔に佇む水の宮殿

サンクチュアリコート琵琶湖 ベネチアンモダンリゾート

日本遺産にも指定される美しい水辺を誇る琵琶湖。その湖畔に「サンクチュアリコート琵琶湖 ベネチアンモダンリゾート」が誕生します。レイクビューにこだわった贅沢な空間で身も心も寛ぐ時間を堪能いただけます。

2024年10月開業予定

access

お車でお越しの方

- ▶ 名神高速道路「京都東」J.C.より約50分(約45km)
- ▶ 北陸自動車道「木之本」J.C.より約50分(約42km)

電車でお越しの方

- ▶ JR湖西線「近江高島」駅よりタクシーで約8分(約4km)
- ▶ JR湖西線「安曇川」駅よりタクシーで約10分(約4.5km)



ENTRANCE

サステナビリティにも配慮し、施設における日中の消費電力のおよそ80%相当を太陽光発電などの自家発電で賄う予定。

ホテル内には、鉄板焼を備えた日本料理、中国料理、イタリア料理のほか、ボールルームでは地産地消にこだわったbuffetを開催。

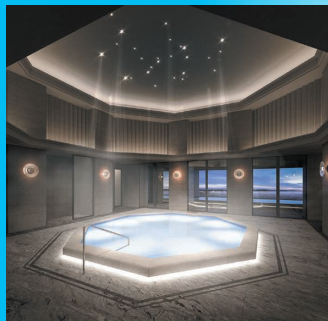


RESTAURANT

SPECIAL SECTION

特集

湖とひとつになる解放感
琵琶湖の風景に溶け込む
身も心も満たされる時間



SPA



温泉が引かれた露天風呂は、琵琶湖の風景を堪能できるインフィニティバス。内風呂の他、蒸気式サウナやスチームサウナ、炭酸泉風呂などスパ施設が充実。



INDOOR POOL

琵琶湖とつながるかのようなインフィニティ・インドアプール、美しい湖を望むトレーニングジムなど充実したウェルネス施設も魅力。

湖上のヴィラのような客室では、刻々と表情を変える琵琶湖を眺め時間を忘れる。客室は全室レイクビューのスイートルーム。



ROOM



TOPICS

トピックス

メディカル事業

フェムテック事業について ライフステージで変化する女性の健康課題に取り組む

女性特有の健康課題をテクノロジーで解決して支援するフェムテック。

年齢とともに変化する女性特有の健康課題は、お客様のより豊かな人生の実現だけでなく、当社グループ全従業員の半数近くを占める女性の日々の生活にも大きな影響を及ぼす社会課題であると考え、当社グループはフェムテック事業に取り組んでいます。



ブランド紹介



エストールブランド監修

吉形 玲美 医師

医療法人社団ミッドタウンクリニック
特別顧問（女性医療研究主幹）
産婦人科専門医（医学博士）

プロフィール：

産婦人科臨床医として医療の最前線に立ち、婦人科腫瘍手術等を手掛ける傍ら、女性医療・更年期医療の様々な臨床研究にも数多く携わる。現在は婦人科診療のほか多施設で予防医療研究に従事。

昨今、女性の健康課題をテクノロジーで解決する「フェムテック」が注目されています。まさに、昨年誕生したest're®(エストール)は婦人科学の発想で、正しいセルフケアをお届けするフェムテックブランドです。ブランド初のシリーズは、腔内環境に着目し、腔の善玉菌「ラクトバチルス乳酸菌」を配合した「デリケートゾーンケア」商品を揃えています。

女性の体は思春期、性成熟期、更年期、閉経後と各ライフステージで女性ホルモンの影響を生涯受け続けます。「人生100年時代」といわれるようになった現在、長い人生をいかに健康で快適に過ごしているかが課題となっています。

20年以上産婦人科医として従事してきたなかで、多くの女性が体の不調や悩みを我慢しながら生活していることを感じてきました。女性が自身の体について正しい知識をもち、生活のなかにセルフケアを取り入れることが大切で、それが不調を解決する近道と考えています。

これからますます女性が活躍する社会になることを期待し、日々研究を重ね、女性の悩みに寄り添ったセルフケアを提案してまいります。



URL : <https://est're.jp/>

TOPICS

トピックス

メディカル事業

DeNAとメディカル・ヘルスケア領域で合弁会社を設立 DX化の推進によるサービス向上へ

当社は2月14日付で、株式会社ディー・エヌ・エー（DeNA）と包括的な業務提携を締結しました。当社グループが有する医療のネットワークやノウハウと、DeNAが強みとするエンターテインメント領域で培った知見やインターネット、AIの技術を掛け合わせることで、メディカル及びヘルスケア領域におけるデジタル・トランスフォーメーション化(DX化)を推進します。また、合弁会社「株式会社ウェルコンパス」事業を通じた各種データの取得と活用により、新たな事業機会の創出を目指してまいります。

合弁会社について

会社名	株式会社ウェルコンパス
代表者	当社 常務取締役 メディカル本部長 古川哲也
事業内容	メディカル・ヘルス領域におけるデジタルソリューションの提供及び事業開発
出資比率	当社51%

取り組み例 第1弾

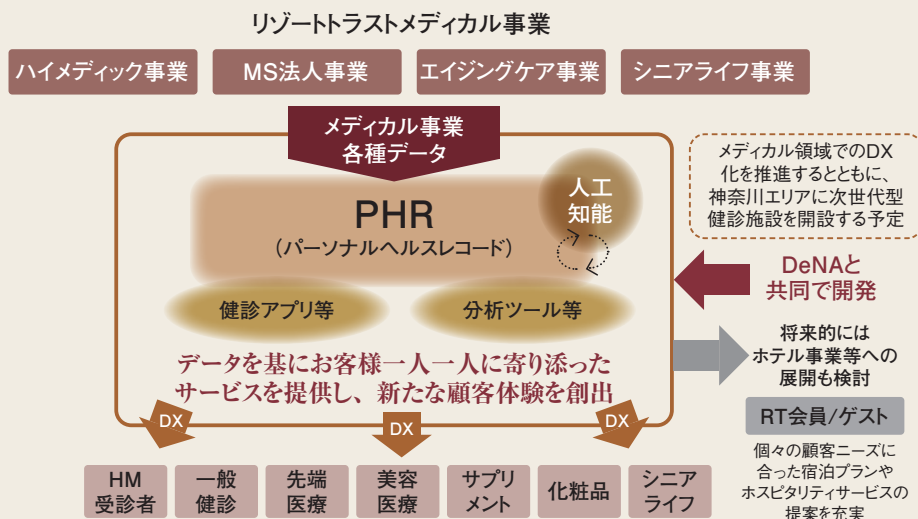
- ・メディカル領域でのDX化の推進
- ・健診の1日だけでなく、その後の364日もパーソナライズされた健康サポート

【DeNAとの業務提携によるメディカル事業の新規展開イメージ】

リゾートトラストのメディカル事業のDX化及びウェルコンパスで蓄積されるデータと知見をもとに、化粧品・サプリメント事業などエイジングケア事業の成長を加速させます。

将来的には、蓄積されたPHR*を活用したヘルスケアAIによる新規事業を、当社とDeNA両社で共同展開し事業領域を拡大させるほか、リゾートトラストのホテル事業とのシナジーも視野に入れています。

*Personal Health Record：個人が自分の医療情報や健康に関するデータを記録・管理できる仕組み



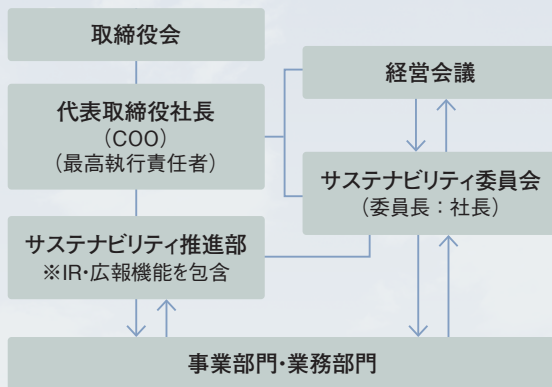
サステナビリティ推進体制の強化 事業とESGへの取り組みを一体化する組織づくり

当社は、このたび、持続可能な社会の実現へ貢献するとともに、中長期的な企業価値の向上を目指すため、社長を委員長とする「サステナビリティ委員会」の設置を決定し、合わせてその事務局を担う「サステナビリティ推進部」を設立しました。

脱炭素社会の実現をはじめ、SDGsの17ゴールの達成に向け大きな変革を求められるなか、当社グループは、現在、様々なESG(環境・社会・ガバナンス)課題の解決に資する事業を通じた取り組みを展開しています。こうした取り組みを一段と強化すべく、2023年4月に創立50周年という節目を迎えるにあたり、当社グループは、経営、戦略、事業活動において、「サステナビリティ」という共通の軸を通し、中長期的ビジョンを描く考えです。

今後は、DX(デジタルトランスフォーメーション)投資によるさらなる生産性の向上、新規ビジネスの創造及び既存事業の持続モデル構築に取り組み、経営環境の変化への対応力を高めるとともに、新体制のもと、グループ一体となって社会の持続可能性に配慮した経営を推進してまいります。

サステナビリティ推進体制

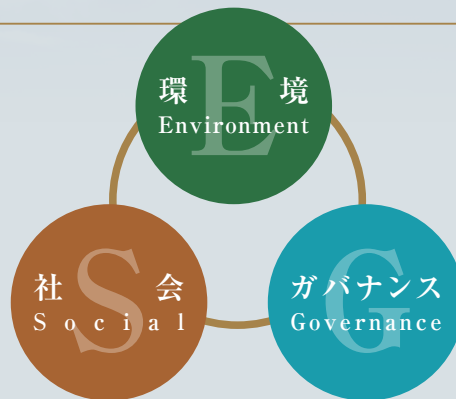


基本的な考え方

リゾートトラストグループでは、持続可能な事業と社会の発展のために、当社グループが重要と考えるサステナビリティに関する課題を共通認識として共有し、「グループ経営理念」の下、中期経営計画の基本戦略の中で取り組んでいきます。

中期経営計画「Connect 50」における環境認識(社会的ニーズ)

- 新たな生活様式において求められる価値観を先取りした、時間や空間、リラクゼーションの提供
- 観光立国、地方創生、働き手不足、ダイバーシティ推進
- ハイクオリティで安心なシニア向けサービス・施設の拡充
- 健康の維持、早期発見による予防医療ニーズの高まり
- 高度先進医療の研究開発、エイジングケア事業の展開



TOPICS

トピックス
サステナビリティ

Environment 環境 気候変動への取り組み

CO₂削減に向け 全37拠点をソーラー化

当社グループは、2030年又は2050年に向けた中長期的なGHG（温室効果ガス）排出量削減に向け、国内全ての会員制リゾートホテル拠点と、全てのグループゴルフ場、合わせて37拠点到太陽光発電設備を設置する方針を決定しました。およそ20億円規模の投資を行い、2022年度以降、順次各拠点の条件に合わせて建物屋上や駐車場の屋根などに太陽光発電設備の導入を進め、発電した電力を自家消費することで、環境負荷への低減を図ります。



再生可能エネルギー（太陽光）の使用によりCO₂削減を推進

TOPICS

トピックス
ゴルフ事業

リゾートトラストレディス2022 メイプルポイントゴルフクラブで開催



リゾートトラストレディスが、5月26日(木)から29日(日)までの4日間、山梨県の「メイプルポイントゴルフクラブ」にて開催されました。メイプルポイントゴルフクラブは、過去5回、リゾートトラストレディスの舞台となったことがある名門コースです。



優勝した小祝さくら選手

第30回の記念すべき本大会は、検温やマスク着用など新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底したうえで、各日の来場者数を5,000人に制限しながらも、2年ぶりに有観客で競技を実施。ギャラリーを迎えた会場は、選手のプレーを間近で見守るファンの皆様からの拍手による応援に包まれ、記念大会にふさわしい雰囲気のもと熱戦が繰り広げられました。



ビート・ダイの設計による変化に富んだ戦略性の高い名門ゴルフコース。リゾートトラストレディスの開催は7年ぶり

株主優待券の電子化

『2022年3月末』時点の株主様贈呈分より電子化になります

2022年6月より贈呈する株主優待券を、従来の「紙」から「電子チケット」へ変更し発行することいたしました。電子チケットは、当社が運営する「アプリ(RTTGアプリ)」を使用し発行されます。今後は、お手持ちのスマートフォンで、ご利用時にアプリ内の電子チケットをご提示いただくことで、手軽に株主優待をご利用いただけます。なお、優待内容についての変更はございません。

本アプリをご登録いただくことで、当社グループサービスのご利用時におけるポイントの獲得や利用をスマホアプリからスムーズに行うことができます。また、将来の優待内容拡充等の検討においても、アプリ機能を活かした機動的な選択が可能となることから、株主の皆様の利便性向上にもつながると考えております。

ダウンロードはこちらから

アプリを入手・起動

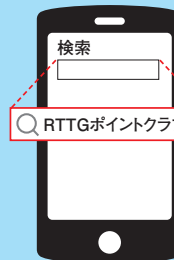
App Store
からダウンロード



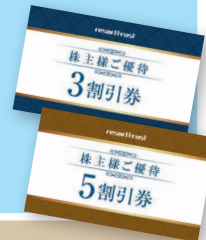
Google Play
で手に入れます



※ App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
Google Play および Google Play ロゴは、
Google LLCの商標です。



株主優待
電子チケット▼



基本的な優待制度は下記URLよりご確認ください。
<https://www.resorttrust.co.jp/ir/stock/benefit/>

Q1. どのように電子チケットを発行しますか？

A1. まず、スマートフォンで、RTTGアプリをダウンロードしていただきます。
その後、権利確定後に郵送する株主様向け通知に同封の【株主優待用QRコード記載のご利用券】に印字されているQRコードを読み取り、株主認証の画面にて株主番号(9桁)を入力することで、持ち株数に応じた枚数分発行させていただきます。

Q2. スマートフォンがない人の優待利用はどうしたらよいですか？

A2. 権利確定後に郵送する株主様向け通知に同封の【株主優待用QRコード記載のご利用券】を、直接ご利用施設にお持ちいただき、ご利用時にスタッフにご提示ください。ご利用券がご提示できない場合は、優待のご利用ができかねます。

Q3. RTTGアプリで発行した株主優待券(電子チケット)を第三者に譲渡したい場合はどうすればよいですか？

A3. RTTGアプリ間で、株主優待券(電子チケット)の譲渡をすることが可能です。
譲渡するためには、相手方にもRTTGアプリをダウンロードしていただく必要があります。
RTTGアプリのダウンロード <https://point.rttg.jp/entry/>

株主優待情報FAQは
こちらをご覧ください

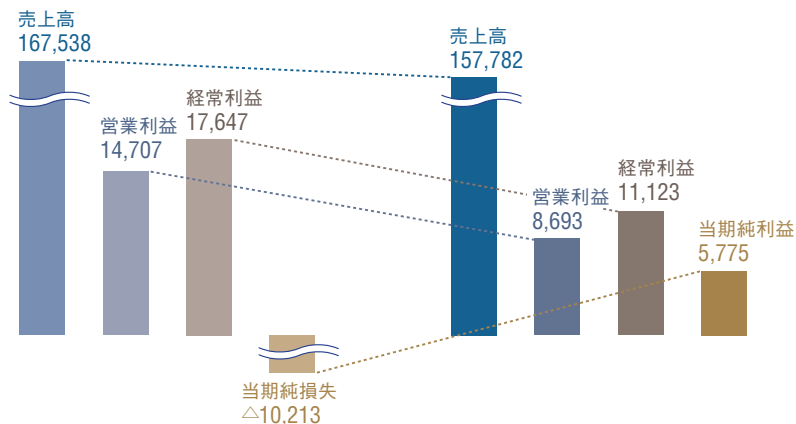


CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

連結財務諸表

収益の状況

単位：百万円



前連結会計年度

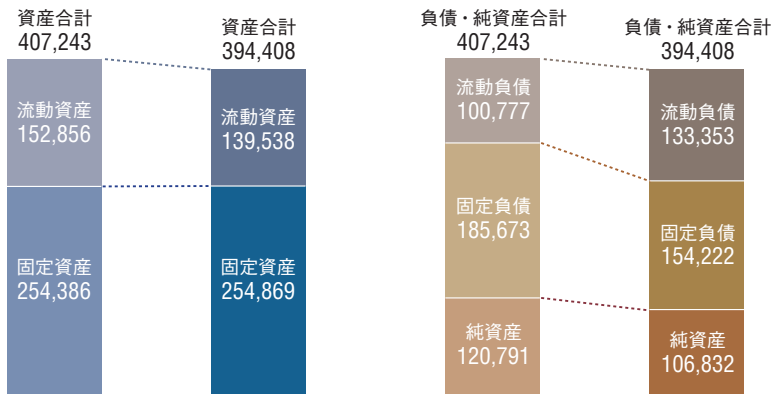
2020年4月1日～2021年3月31日

当連結会計年度

2021年4月1日～2022年3月31日

財務の状況

単位：百万円



前連結会計年度
2021年3月31日現在

当連結会計年度
2022年3月31日現在

前連結会計年度
2021年3月31日現在

当連結会計年度
2022年3月31日現在

連結決算の概要

損益 | 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響等により、ホテルレストラン等事業において、集客及びホテル稼働に大きな影響を受けました。メディカル事業においても、シニアレジデンスへの新規入居が鈍化するなど、昨年度に引き続き大きな影響を与えております。一方で、会員権事業においては、「サンクチュアリコート高山」や既存ホテル会員権の販売が過去最高のペースで好調に推移しました。上記に加え、前年同期には会員制ホテルの新規開業に伴い繰延べてきた不動産収益の一括収益計上があったのに対し、当期は無いことなどにより、売上高は157,782百万円（前年同期比5.8%減）、営業利益は8,693百万円（前年同期比40.9%減）、経常利益は11,123百万円（前年同期比37.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は5,775百万円となりました。

資産 | 流動資産は、前連結会計年度に比べて8.7%減少し、139,538百万円となりました。これは、主に割賦売掛金が33,155百万円増加した一方で、現金及び預金が19,573百万円、営業貸付金が14,018百万円、有価証券が7,094百万円、販売用不動産が9,772百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。固定資産は、前連結会計年度に比べて0.2%増加し、254,869百万円となりました。これは、主に有形固定資産が466百万円、無形固定資産が1,639百万円、投資有価証券が3,719百万円、それぞれ減少した一方で、繰延税金資産が7,016百万円増加したことなどによるものであります。

負債 | 流動負債は、前連結会計年度に比べて32.3%増加し、133,353百万円となりました。これは、主に一年内償還予定の新株予約権付社債が29,728百万円減少した一方で、前受金が60,179百万円増加したことなどによるものであります。固定負債は、前連結会計年度に比べて16.9%減少し、154,222百万円となりました。これは、主に長期借入金が19,217百万円、長期前受収益が14,157百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

純資産 | 純資産合計は、前連結会計年度に比べて11.6%減少し、106,832百万円となりました。これは、主に収益認識会計基準等の適用などにより利益剰余金が14,091百万円減少したことなどによるものであります。

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

連結財務諸表

キャッシュ・フローの状況

単位：百万円

	前連結会計年度 2020年4月1日から 2021年3月31日まで	当連結会計年度 2021年4月1日から 2022年3月31日まで	前期比 増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	22,981	22,662	△318
投資活動による キャッシュ・フロー	△13,577	2,736	16,314
財務活動による キャッシュ・フロー	22,012	△49,026	△71,039
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△37	80	117
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	31,379	△23,546	△54,926
現金及び現金同等物の 期首残高	21,376	52,756	31,379
現金及び現金同等物の 期末残高	52,756	29,210	△23,546

連結決算の概要

営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における営業活動による資金は、前連結会計年度と比べ、税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失の増加、減損損失の減少などにより22,662百万円の増加（前連結会計年度比318百万円の減少）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における投資活動による資金は、前連結会計年度と比べ、有価証券の取得による支出の減少や、有形固定資産の取得による支出の減少などにより2,736百万円の増加（前連結会計年度比16,314百万円の増加）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

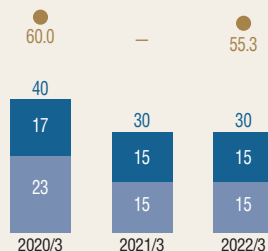
当連結会計年度における財務活動による資金は、前連結会計年度と比べ、長期借入金の返済や社債の償還による支出の増加などにより49,026百万円の減少（前連結会計年度比71,039百万円の減少）となりました。

IR TOPICS

中間配当金と合わせて年間配当金は30円に

2022年3月期の期末配当金につきましては、当期の業績と今後の事業展開等を勘案し、1株当たり15円の配当を実施いたしました。中間配当金15円と合わせ、年間配当金は30円とさせていただきます。なお、2023年3月期の配当金予想については、前年同期に比べ10円増配の年間配当金40円（予想）と、業績回復に伴い増配を行う見込みです。

配当金 中間 ■ 期末 ■ (円)
配当性向 ● (%)



ESG TOPICS

働く大人の女性医療メディア「ILACY」

当社グループ会社、株式会社アドバンス・メディカル・ケアが運営する働く大人の女性医療メディア「ILACY」では、大人の妊活やエイジングケアなど、大人女性の心と体の悩みについて医療の専門家を中心とした医療情報を発信しています。



「ILACY」トップ画面

[URL] <https://www.ilacy.jp/>

各種情報のご案内

各種情報に関しましては、以下のURLをご覧ください。

会社概要

<https://www.resorttrust.co.jp/corporate/about/outline/>

会社概要

会社名 リゾートトラスト株式会社

本社 〒460-8490 名古屋市中区東区2-18-31
Tel (052) 933-6000 (大代) 相国 電

東京本社 〒151-0053 東京都港区代々木4-36-19
Tel (03) 8731-0001 (大代) 相国 電

所在地

代表者 代表取締役フアンダー 伊藤 潤樹 グループCEO (グループ最高経営責任者)
代表取締役会長 伊藤 勝康 CEO (最高経営責任者)
代表取締役社長 伏見 有真 COO (最高執行責任者)

創業 1973年4月

資本金 195億90百万円 (2022年3月末)

従業員数 7,903名 (2022年3月末 連結)

事業内容 本社之所、支社々所所
リゾートホテル・シティホテル等 国内40カ所、ハワイ1カ所
ゴルフ場1カ所
メディカルカ所
シニアレジデンス23カ所

グループ会社 リゾートトラスト株式会社他 35社

事業内容 会員権事業、ホテルレストラン事業、ゴルフ事業、メディカル事業、その他の特許

売上高 1,577億82百万円 (2022年3月末 連結)

東宝登録 宅地建物取引業、国土交通大臣 (1) 第2901号、観光庁長官登録旅行業第887号

加盟団体 一般社団法人日本リゾートクラブ協会、一般社団法人日本旅行協会、公益社団法人日本不動産協会

グループ会社一覧

<https://www.resorttrust.co.jp/corporate/about/group/>

グループ会社

ホテル事業関連

RESORTTRUST HAWAII LLC ホテルの経営
代表者：伏見 有真
海外リゾート交際利用と国内リゾート予約の受託

RTCC (株) 代表者：伏見 有真
リゾートトラストの運営する建物 (エクスパン・サンメンバーズなど) および付帯施設の総合
清掃・設備管理

(株) ジェス 代表者：荻野 重利
TEL: 052-310-0794
URL: <http://rttg.jes.jp/> 電

ヘアクセサリ等製造・販売

(株) コンプレックス・
ビジネス・インテグレーション 代表者：伏見 有真
TEL: 052-310-2450
URL: <http://www.complex-biz.com/> 電

旅行保険代理店

(株) サンホテルエージェント 代表者：大森寺 雅史
TEL: 052-310-0796

メディアカル事業関連

メディカル会員権の販売および運営管理

(株) ハイメディック 代表者：伏見 有真
TEL: 03-8731-0706
URL: <https://www.himedico.co.jp/> 電

役員一覧

https://www.resorttrust.co.jp/corporate/about/board_member/

役員一覧

職名	名前	職務担当
代表取締役フアンダー	伊藤 潤樹	グループCEO(グループ最高経営責任者)
代表取締役会長	伊藤 勝康	CEO(最高経営責任者)
代表取締役社長	伏見 有真	COO(最高執行責任者)
専務取締役	井内 克之	業務部門 管理 COO(コンプライアンス兼責任者)
専務取締役	新谷 敦之	会員部本部 本部長
専務取締役	内山 敏彦	料理数部門 部長
常務取締役	高木 直	会員部本部 副本部長 兼 次長兼社長
常務取締役	花田 慎一郎	開発部門 部長
常務取締役	吉川 哲也	メディアカル本部 本部長
取締役	荻野 重利	ホテルズメディア本部 本部長
社外取締役	野中 とみよ	
社外取締役	寺澤 朝子	

株式の状況・株式分布状況・株主メモ

<https://www.resorttrust.co.jp/ir/stock/information/index.html>

株式情報

株式基本情報

証券コード 4681

業種 サービス業

決算期 3月31日

会社が発行する株式の総数 150,000,000株

株主数 37,965名

株主分布状況

証券会社 保有株式数: 1,012(千株)
持株比率: 0.9%

自己株式 保有株式数: 1,081(千株)
持株比率: 1.0%

個人その他

その他の法人

株主優待

<https://www.resorttrust.co.jp/ir/stock/benefit/>

株主優待情報

基本的な優待制度

長期保有株主優待付与制度 (2016.3.31より導入)

100株以上の株主様に対し「株主優待電子チケット(2022.3.31末の株主様より)」を発行いたします
※電子チケットは、「RTTGアプリ」にて発行予定
※発行内容は、2022年6月5日株主へ通知、及び公開予定です
※2021年6月発行の紙の優待券は、2022年7月10日の期限までそのまま使用いただけます。
※ご不明な点については、FAQをご覧ください

【株主優待の開催時期】
2022年度より、定時株主総会後(6月末~7月上旬)に、「RTTGポイントクラブ」アプリを基本に電子
優待券を発行いたします。発行に当たっては、定時株主総会後(6月末~7月上旬)に株主様に普通郵便
にてお送りする「株主関係書類」に記載のQRコードをご自身のスマートフォンで読み取る必要がございます
です。なお、スマートフォンをご利用になれない方への経過措置として、前述のQRコードを記載の用紙を直接
郵送でお送りいただくことで、お受けいただく方法もご利用します。(条件の詳細は株主優待FAQ
を参照ください。)

2022年4月1日より、ホテルトラストの株主優待ご利用可能施設が3施設(ホテルトラスト 東京ベイサ
ンホテル)に増えました。